

自動車環境計画 実施状況報告書 提出事業者一覧 計画期間:平成30年度～令和2年度

事業者名	所在	提出区分		業種			使用台数	令和元年度 燃料の使用状況				二酸化炭素の排出量(参考値)	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標の達成状況	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標を達成するために講じた措置	左記以外の温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標を達成することができなかった場合の理由
		条例第14条第1項	条例第14条第2項	トラック	バス	タクシー		揮発油 kl	軽油 kl	液化石油ガス(LPG) t	圧縮天然ガス(CNG) 千m3					
甲府通運株式会社	中央市山之神通団地3329-9	○		○			71		761.0			1,963.0	新規業務の獲得により、大型車による重量物(飲料水等)の運搬が増加し大型車の燃費が悪化した(-2.1%)が、地場を中心に集配業務を行う中型車においては若干の改善(+0.7%)がみられた。	各ドライバーに対し、外部機関や社内教育において省燃費運転の推進を指導した。また、日々の点呼の際、当日の運行記録をもとにスピードやエンジン回転数等をチェックし指導を行い、省燃費運転の推進を意識づけている。更に1年度においては燃費の悪い旧型車を代替し、新車を4台導入した。		新規業務の獲得により、大型車による重量物(飲料水等)の運搬が増加し大型車の燃費が悪化したことが大きな要因として考えられます。大型車においては全体の走行キロが対前年の1.44倍となっており、その大部分が飲料等の重量物運搬です。
山梨交通株式会社	甲府市飯田3-2-34	○			○	○	バス 217台 タクシー 91台	27.7	3,340.9	377.4	86.2	10,008.0	基準年度と比較して主にバスの走行距離が減ったため燃料使用量が減少し、結果として温室効果ガス(Co2)の排出を低減することとなり、目標を達成した。	・エコドライブの徹底 ・デジタルタコグラフのデータに基づく個別指導の実施 ・従業員に対する環境に関する情報提供と教育の実施 ・燃費性能の高い車両への代替の促進		
株式会社新和運輸	南アルプス市桃園1502-1		○	○			20		593.7			1,532	軽油1リットル当たり走行燃費は4.55Kmであり、前年度比プラス0.7%でしかなく、目標値2%には届かなかった。	ドライブレコーダーのデータを基にしたアイドリング時間・速度・急発進・急ブレーキの抑制運転を指導。		抑制運転の指導が徹底されなかった。
株式会社トーション	中央市山之神3162-37		○	○			17		251.1			647.8	令和元年度車種別燃費 2t車6.84Km/ℓ 3t車7.32Km/ℓ 4t車6.08Km/ℓ 7t車4.44Km/ℓ 20t車2.21Km/ℓ 前年度より燃費向上	・車両の計画入れ替え ・エコドライブ、アイドリングストップの励行 ・毎月、車両別に燃費データを集計し掲示		